



市長 村越 祐民

千葉県

市川市



誰もが個々の能力を生かしながら健やかに、生き生きと暮らせる「健康都市いちかわ」を目指しています。

【データ】

・人口

485,767人

・世帯数

241,371世帯

※平成30年3月31日現在

・特産物

梨・海苔

## 市川市の紹介

市川市は、千葉県の西部、江戸川を隔てて東京都と相対する千葉県の玄関口です。都心から20km圏内に位置し住宅都市として発展してきました。都心部と県内各地域を結ぶ広域交通網の集中する位置にあり、JRなど鉄道各線の駅が16あります。また、東西方向の幹線道路である京葉道路や国道14号のほか、本年6月には市内を南北に縦断する東京外かく環状道路（外環道）が開通するなど、広域的な道路網が形成されています。

交通アクセスの良さから、首都圏のベッドタウンとなっておりますが、北部には梨栽培など農業が盛んな地域があります。また、古くは八幡・菅野地区は高級住宅街として栄え、屋敷街を形成しています。付近には学園が多く、文教都市としての特徴も備えています。南部は、東京湾に臨み、海苔の産地として知られていますが、京葉工業地帯の一翼も担っており、新しい都会的な住宅都市が形成されています。

## 市川市のみどころ

### ●市川市動植物園

人気者のレッサーパンダやオランウータンなどを中心に約60種460点の動物が飼育・展示されています。数年前にインターネットで大ブレイクした、コツメカワウソたちが“ウォーターライダー”状の滑り台で遊んで滑り降りる様子を、“流しそうめん”にかけた「流しかワウソ」コーナーは注目の的です。植物園のまわりには、自然観察園、バラ園、大温室やサボテン室が備えられた300種以上の熱帯植物を鑑賞できる観賞植物園があります。



### ●道の駅「いちかわ」

本年4月、「休憩」「情報発信」「地域連携」「防災」の4つの機能を持つ道の駅「いちかわ」が、外環道の開通に先立ちオープンしました。

市内産農水産物を利用したレストランやカフェ、FM局サテライトスタジオを展開するほか、健康維持増進や文化振興などのカルチャー教室も運営します。外環道を利用する方の休憩の場としてだけでなく、市民も徒歩や自転車で訪れて交流を図る都市型の道の駅を目指しています。



## 健康都市に向けた取り組み

### ●市川市健康都市推進講座



平成 17 年度から、市川市内にある和洋女子大学の協力のもと、健康に関心を持つ市民を増やし、健康都市の考え方を地域に普及することを目的として、市川市健康都市推進講座を開催しています。

この講座では、運動や食などの「人の健康づくりに関すること」や、市川市の産業や文化、まちの環境などの「人を取り巻く環境づくりに関すること」について、幅広く学べます。

また、全 7 回の講義のうち 5 回以上受講された修了者の中から希望者を「市川市健康都市推進員」として委嘱しています。

### ●市川市健康都市推進員

市川市健康都市推進員は、健康都市推進講座を修了し、講座で学んだ知識をいかしながら、行政と協働で健康都市を推進するため、地域の健康づくりのリーダーとして活動しています。

主な活動は、市民の健康の保持増進に関することについての正しい知識の啓発や情報の提供、環境美化運動、地域福祉活動などです。

また、平成 23 年度より市川市健康都市推進員会を発足し、活動を行っているほか、自主的に任意団体を立ち上げて地域に密着した活動を展開したり、個人で様々なボランティア活動に参加している方もいます。

昨年度は、市川ヘルシーパートナーズ事業として、地域住民に向けた健康に関するイベント「健康フェスタ」と「健康絵手紙コンテスト」を開催いたしました。

「健康フェスタ」は平成 29 年 11 月 23 日（木・祝）に市川市文化会館で開催した、健康イベントです。推進員会メンバーが講師となり、来場者と一緒にタオル体操を行ったり、体力測定会を実施しました。

「健康絵手紙コンテスト」は市川市民から『健康食や運動、趣味、風景、環境、笑顔など、自分が「健康」と思えること。』をテーマに絵手紙を募集し、推進員会で入賞者を選び、健康フェスタで表彰式を行ったほか、応募いただいた全 234 作品を健康フェスタの会場内や市の施設の生涯学習センターにて展示を行いました。



絵手紙展示の様子



タオル体操の様子

担 当

市川市 保健部 保健医療課 健康都市・健康づくり推進担当

Tel : 047-712-8642 Fax : 047-712-8740